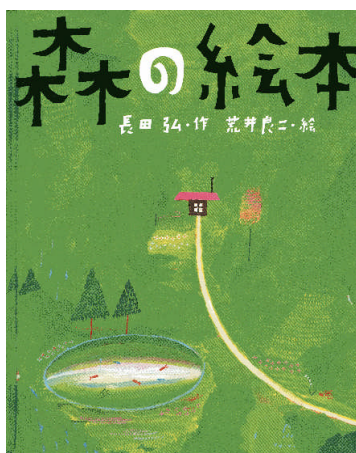


News Release

ビューフェこども美術館リニューアルオープン記念展

## 木のものがたり

---



長田弘・作 荒井良二・絵 『森の絵本』



いせひでこ 『大きな木のような人』

2013年7月27日(土)—12月25日(水)

ビューフェこども美術館

展覧会名     ビュフェ子ども美術館リニューアルオープン記念展

## 木のものごたり

会    期    2013年7月27日(土)—12月25日(水)

会    場    ベルナール・ビュフェ美術館 別館

ベルナール・ビュフェ美術館は、子どもが多い町、静岡県長泉町に唯一存在する美術館として、大人だけでなく、子どもたちにとっても親しみやすい美術館活動を目指してまいりました。

また、自然に囲まれた森の中にある美術館であることから、子どもたちの日常の中に、美術や自然と触れ合うきっかけをつくることができるよう、展覧会やワークショップを開催してまいりました。

この度、開館40周年を迎えるビュフェ美術館は、約一年間の改修工事を経て、4月にリニューアルオープンいたしました。併設のビュフェ子ども美術館も、7月に新たな装いでの公開となります。これを記念し、ビュフェ子ども美術館では、特別企画展「木のものごたり」展を開催いたします。

ビュフェ美術館入口にある、開館を記念して40年前に植樹された大きなクスノキ。

美術館を覆うように、守るように立っているこのクスノキは、長い年月を経て美術館のシンボルツリーへと成長しました。

木に縁のある当館で、木にまつわる絵本の原画や造形作品を展示し、そのぬくもりをお届けするとともに、「身近にある自然に目を向けることの大切さ」をテーマにご覧いただきます。

## EXHIBITION

### 展示概要

#### ビュフェ美術館と周辺の木々

1973年11月25日、ベルナール・ビュフェ美術館の開館を記念し、アナベル・ビュフェ夫人を迎えて美術館入口前に一本のクスノキを植樹しました。いまでは当館のシンボルツリーとなっているこの木を中心に、美術館周辺ではたくさんのお木々と出会えます。

ビュフェ美術館と周辺の木々についてご紹介します。

#### 木のものがたり

絵本作家荒井良二といせひでこによる、木の強さや優しさを感じる絵本、こどもたちの未来に込められた願いを感じる絵本の、原画や絵画作品、楽しい立体作品などを展示します。

【荒井良二】1956年山形県生まれ。日本大学芸術学部美術学科卒業。1990年に処女作『MELODY』を発表以来、数々の絵本、挿画を手掛ける。1991年、『ユックリとジョジョニ』でエズラ・ジャック・キーツ賞を受賞以来、第46回小学館児童出版文化賞(1997)、ポローニャ国際児童図書展特別賞、講談社出版文化賞絵本賞(ともに1999)、アストリッド・リンドグレーン賞(2005)など、多くの賞を受賞。2004年にはクレマチスの丘のポスターやグッズを手掛け、絵本づくりのワークショップも行った。

出品作品…絵本『森の絵本』、『あさになったのでまどをあけますよ』、『なんていいんだぼくのせかい』原画、絵画作品ほか。

【いせひでこ】1949年北海道生まれ。東京芸術大学美術学部デザイン科卒業。1988年に『マキちゃんのえにつき』で野間児童文芸新人賞、1996年『水仙月の四日』で産経児童出版文化賞、2007年『ルリユールおじさん』で講談社出版文化賞絵本賞を受賞。数々の絵本、エッセイなどを手掛ける。2009年、ビュフェこども美術館10周年を記念し、「いせひでこ絵本原画展」を開催。サイン会やワークショップも行った。

出品作品…絵本『大きな木のような人』(前半)、『チェロの木』(後半)、『木のあかちゃんズ』原画、絵画作品。

#### 木の絵本図書館

国内外の、木にまつわる絵本をご自由にご覧いただけます。

#### 木に触れてみる めくもりを感じる

触れて遊べる木の彫刻作品を展示します。視覚、聴覚、触覚、嗅覚で、木のめくもりを感じます。

【杉山明博】1942年静岡県函南町生まれ。1966年静岡大学教育学部卒業、1976年東京教育大学大学院修士課程修了。1967年に第7回武藤工業設計コンクール1位・武藤賞、翌年鉄の新しい用途開発のための設計競技佳作、1972年第37回・38回新制作協会新作家賞受賞。富士常葉大学保育学部特任教授、静岡大学名誉教授(2008)を務めながら、各地で木のめくもりと触れ合える体験型の展覧会を開催。当館では、2000年に「木とのふれあいワールド in ビュフェの森」、2001年に「造形の森」展を開催している。

出品作品…「触の引き出し」「音の木」「ごろねの広場」

#### 絵本をつくろう

いつでも誰でも無料でできるドロップインワークショップのコーナーもあります。小さな絵本をつくります。

## EVENT

※日程は変更する場合がございます。随時ホームページでご紹介いたします。

### 「荒井良二さんのライブペインティング」

「木のものごと」展会場で、荒井良二さんの即興制作を間近でご覧ください。

日時／8月17日(土) 13:00～

会場／ベルナル・ビュフェ美術館別館「木のものごと」展会場

### 「荒井良二さんのワークショップ」

荒井良二さんの、制作のヒントに触れられるかもしれません。

表現することを一緒に楽しみましょう。

日時／10月12日(土) 13:30～16:00

会場／ビュフェこども美術館



2004年のワークショップの様子。参加者がつくった絵本をいっしょにみる。

### 「対談：荒井良二×いせひでこ」

荒井良二さんといせひでこさん。意外に？共通点も多いお二人の、初めての対談です。

日時／10月13日(日) 14:30～16:00

会場／クレマチスの丘ホール



2009年のワークショップの様子。参加者の絵を並べてものがたりをつくっていく。

### 「いせひでこさんのワークショップ」

参加者と1冊の絵本をつくった2009年のワークショップのように、心に残る時間を一緒に過ごしましょう。

日時／ホームページでお知らせします。

会場／ビュフェこども美術館

### 「柳田邦男さんの子どもと大人のための絵本の読み聞かせ」

絵本の普及活動を行っている、ルポライターの柳田邦男さんが、子どもたちのために、そして子を持つ親のために、絵本の読み聞かせをさせていただきます。

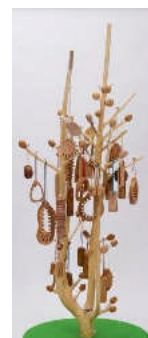
日時・会場／ホームページでお知らせします。

### 「木の音色をきく、夏のマリンバコンサート」

打楽器奏者・小松玲子さん率いる“DADA(ダダダ)”のみなさんが、楽しいマリンバの音色をとどけてくださいます。また、こども美術館に展示している「音の木」をこの日だけ大展示室に移動し、演奏していただきます。

日時／8月18日(日) 11:30～、14:00～ 各40分

会場／美術館大展示室



「音の木」参考イメージ

### 「阿部海太郎 秋の演奏会」

クレマチスの丘の10周年に寄せて音楽を作曲して下さった阿部海太郎さんが、ビュフェや『木を植えた男』の著者ジャン・ジオノにインスピレーションを得た音楽を作曲して下さいました。紅葉が始まる森の中、あたたかい音色に包まれてください。

日時・会場／ホームページでお知らせします。

## INFORMATION

### ■開館時間

10:00～18:00 (7・8月)  
 10:00～17:00 (9・10月)  
 10:00～16:30 (11・12月)

※ご入館は閉館30分前まで

### ■休館日

- ・水曜日(8/14、12/25は開館)
- ・12月26日(木)～2014年1月8日(水)

### ■入館料

一般1,000円(900円)  
 大学生・高校生500円(400円)  
 中学生以下は無料

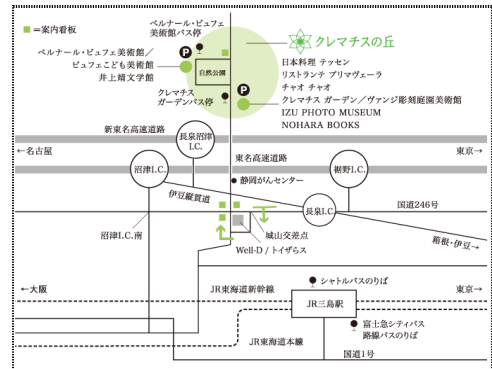
※( )内は20名以上の団体料金

### ■アクセス

お車の場合 【東京方面】東名・裾野 I.C. →R246 経由、沼津方面へ 10 km

【名古屋方面】新東名・長泉沼津 I.C. または東名・沼津 I.C. →伊豆縦貫道(無料区間)へ  
 長泉 I.C. 出口右折、R246 経由 7 km

電車の場合 JR 東海道線[三島駅]下車、北口(3番乗り場)発、無料シャトルバスあり(所要時間 25 分)



行き「三島駅」北口(新幹線口)発→「クレマチスガーデン」→「ベルナール・ビュフェ美術館」

時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17
平日	40	40	40		00	00	00	00	00
土日・祝日	40	40	40		40	40	40	40	

帰り「三島駅」北口(新幹線口)行き:「ベルナール・ビュフェ美術館」発車時刻

時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17
平日		10	10	10	30	30	30	30	
土日・祝日		10	10		10	10	10	10	15

ベルナール・ビュフェ美術館

静岡県駿東郡長泉町東野クレマチスの丘 515-57

TEL055-986-1300/FAX055-987-5511

www.buffet-museum.jp

## IMAGES

次の作品について画像資料(デジタルデータのみ)をご用意しています。ご希望の場合は口にチェック(レ)を入れ、必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

貴媒体名

掲載号

発売日/放映日

年 月 日

貴社名

ご担当者名

E-mail

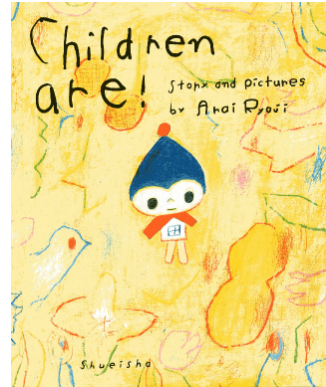
Tel

Fax

ご住所

資料お届け期限

月 日までにご希望



《なんていいんだぼくのせかい》 ©Ryoji Arai



《チェロの木》 ©Hideko Ise

※タイトルが入っていない画像をお送りします。

掲載誌ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただいた際には、お手数ですが掲載誌を2部、美術館広報にお送りくださいますようお願い申し上げます。

広報担当 高橋 宛

**FAX. 055-987-5511**